

**【NEWS RELEASE】**

2021年8月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

「再犯防止分野における学習支援」に関するソーシャル・インパクト・ボンドの  
手法を用いた資金提供について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠、以下、三井住友銀行）は、株式会社公文教育研究会（代表取締役社長：池上 秀徳）、株式会社キズキ（代表取締役社長：安田 祐輔）、一般社団法人もふもふネット（代表理事：藤岡 淳子）が共同事業者となり、法務省より委託を受けた「再犯防止分野における学習支援」におけるソーシャル・インパクト・ボンド（※）を用いた事業に関し、株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：渡辺 一）、株式会社 CAMPFIRE（代表取締役社長：家入 一真）とともに、資金提供者として参画いたします。

本事業は、国が主体となってソーシャル・インパクト・ボンドを活用する初めての事業であり、再犯防止分野においては、地方公共団体も含めて初めての取組になります。今回、採択された事業は、少年院に在院している少年のうち、学習意欲のある者について、少年院在院中に学習支援計画を策定し、その出院後に継続的な学習支援を実施し、対象者の再犯・再非行の防止を目指すもので、学習支援を通じた新たな再犯・再非行の防止対策を行うことを目的に、国によるソーシャル・インパクト・ボンド導入についてのパイロット事業となることも期待されます。

## 各社実施内容について

		団体名	主な役割
委託者		法務省	事業の委託者
受託者	代表事業者	株式会社 公文教育研究会	事業の実施計画・遂行のとりまとめ。①資金調達、②学習支援環境整備（教材提供、学習支援事業者への研修およびOJT）、③学習支援計画の作成・面接、学習支援計画の見直し、④成果のとりまとめ、報告の主体者。
	グループ事業者	株式会社 キズキ	学習支援を行う。①学習支援計画の作成・面接、②出院後の学習支援（公文式学習の指導・運営、個別の目標に応じた学習支援、学習支援計画の見直し）を担う。（東京拠点）
	グループ事業者	一般社団法人 もふもふネット	学習支援と心理的なケアなど生活支援を行う。①学習支援計画の作成・面接、②出院後の学習支援（公文式学習の指導・運営、学習支援計画の見直し）、③生活支援を担う。（大阪拠点）

外部専門家		心理的なケアなど生活支援を行う。対象少年のアセスメント、処遇計画作成、個別面談等による本人の心情把握および問題行動の変化と生活改善のための働きかけ、必要に応じての保護者との連携や危機介入を行う。
資金提供者	株式会社 三井住友銀行	変動金利型貸付にて資金提供
	株式会社 日本政策投資銀行	あおぞら銀行を信託受託者とした信託受益権投資型スキームにて資金提供
	株式会社 CAMPFIRE	融資型クラウドファンディングにて資金提供（貸付）
外部評価機関	特定非営利活動法人 ソーシャルバリュー ジャパン	事業進捗について随時確認、ソーシャル・インパクト・ボンドの観点からモニタリングを行う。

三井住友銀行をはじめとするSMBCグループは「SMBCグループサステナビリティ宣言」や、サステナビリティ実現に向けた10年プラン「SMBC Group GREEN×GLOBE 2030」を公表しており、環境・社会課題を金融面からサポートすることを目指し、ソーシャル・インパクトの分野についてもグループの総合力を活かした先駆的な取組を行っております。

国内では、2017年には神戸市が実施する「糖尿病性腎症等重症化予防プログラム」において日本初となる本格的なソーシャル・インパクト・ボンドに対してファイナンスを実施し、2019年には豊中市が実施する「とよなか卒煙プロジェクト」についてもソーシャル・インパクト・ボンドに対してファイナンスを実施しております。

一方、海外では親会社の株式会社三井住友フィナンシャルグループが2020年7月、インパクト投資に特化した英国の資産運用会社であるAIM社との資本業務提携を実施いたしました。このように、ソーシャル・インパクトの分野にいち早く着目し、実績を有しております。

<ご参考>

※ ソーシャル・インパクト・ボンド

2010年にイギリスで開発された官民連携の社会的投資モデルであり、資金提供者から調達する資金で、行政機関などから委託を受けた民間事業者が公的サービスを実施し、成果に応じて資金提供者に利益を還元する仕組。

以 上